

TOPIC | 超音波検査 予約のご案内

当院では日本超音波学会 認定超音波検査士(消化器領域、循環器領域、血管領域、体表領域)の資格をもつ臨床検査技師が検査を施行し、医師による確認をおこなっています。

地域の先生方の診療の一助となるよう検査技師、医師ともに努めてまいります。

検査名	担当科	検査実施曜日・時間帯				
		月	火	水	木	金
腹部エコー	肝胆膵内科	○	○	○	○	○
甲状腺エコー	外科	○	○	○	○	○
血管エコー (頸動脈、下肢静脈)	外科	○	○	○	○	○
心臓エコー	循環器内科	○	○	○	○	○

診察・検査予約依頼書の超音波検査に☑し、その他必要箇所記入後、地域連携センターにFAXください。

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター (毎月1回発行)
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513

2026 和泉市立総合医療センター

健康フェスタ

～地域と繋がる未来の医療～

5月17日(日) 10:00～15:00 (9:45開場)
入場無料・駐車場無料

キッチンカー & 自主製品販売も多数出店!

キッチンカー・出店場所は こちらから

ミyakumiyaku が ゲスト出演決定!!

2ショット撮影は実施しません
※ 出演時間は当日会場で確認してください

大阪・関西万博公式キャラクターミyakumiyaku ©Expo 2025

受付時間 10:00～14:30

中学生以下対象 お楽しみコーナー

- スーパーボールすくい
- 医療者なりきり撮影会

受付時間 10:00～14:30

健康チェックコーナー

- 肌年齢チェック
- 骨の健康度チェック
- 血管年齢/血圧測定
- マインドチェッカー
- Inbody

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～14:30

健康相談コーナー

- 健康相談
- お薬相談
- 歯科相談
- 介護相談
- 栄養相談

10:00～ 開会式

10:15～ 和泉中学 吹奏楽部 演奏会

10:30～11:00 医療講演

10:30～13:00 和泉市消防本部 消防車展示

12:30～13:00 スペシャルステージ (ゲスト: 辻市長)

14:00～14:30 医療講演

14:15～ 和泉市音楽家連盟 音の和 演奏会

14:45～ 閉会式

病院見学ツアー・医療体験を希望される方は
申込受付にて事前申込をしてください
受付開始⇒10:00～ 締切は各回の10分前

全年齢対象 病院見学ツアー

- 放射線科
- 手術室
- 化学療法室
- 医局 など

普段は入ることのできないバックヤードをご案内します
※安全管理上、見学エリアは一部制限があります
各回先着: 20～30名
(10:30～、12:30～、13:30～、14:00～ 計4回 30分程度)

10～18歳対象 医療体験

- ダヴィンチ 手術体験 各回先着: 5名(同種2名まで)
(10:30～、12:00～、13:30～ 計3回 60分程度)

中学生以下対象

- 超音波(エコー)体験 各回先着: 15名
(10:30～、12:00～、13:00～、14:00～ 計4回 60分程度)

全年齢対象

- 心肺蘇生・AED(BLS)体験 各回先着: 10名(中学生以下) / 10名(高校生以上)
(10:30～、11:00～、11:30～、13:00～、13:30～、14:00～、計6回 20分程度)

主催: 和泉市立総合医療センター
後援: 和泉市役所 和泉市消防本部 和泉市医師会 和泉市歯科医師会 和泉市薬剤師会 泉州北障害者就業・生活支援センター

【問い合わせ】和泉市立総合医療センター 総務課 0725-41-1331(代表)

5月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター 予約受付時間

和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9:00～19:00まで
土曜日 9:00～13:00まで
(但し祝日・年末年始の休日は除く)

TEL: 0725-41-3150 (直通)
FAX: 0725-41-2513 (直通)

和泉市立総合医療センターは

泉州地域における“胃がん診療の拠点病院”です

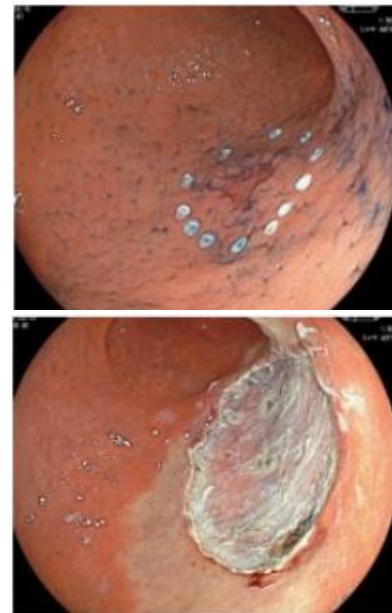
胃がんは減ってもまだ主要がん

ピロリ菌保菌率の低下、除菌治療の確立から、近年胃がんの罹患率はここ20年で約3割低下したといわれています。しかし今なお胃がんは罹患率・死亡率ともに全がん種の中で上位に位置しており(国立がん研究センター最新がん統計より)、難治性の疾患のひとつであることには変わりありません。

胃がんの診断・治療について、他の疾患同様年々進歩し高度化してきています。たとえば診断に用いる内視鏡の画質は4k、8kと超高画質となり拡大内視鏡観察による悪性度診断が可能となりました。また診断補助としてAIも導入され精度向上しています。



上部消化管外科部長
玉森 豊



ESD(内視鏡下粘膜剥離術)の進歩はめざましく、内視鏡自体のみならず切開・止血デバイスなども様々なタイプのものが導入されています。また、過去のデータが集積されESDの適応は一部の粘膜下浸潤病変や低分化型腺癌にまで拡大し続けています。

外科手術については腹腔鏡やロボット支援手術といった低侵襲手術が普及し、以前のようにおなかを大きく切ることなく胃を切除する技術もすすんでいます。ロボット支援手術のメリットは傷が小さいことのみならず、開腹はもちろん従来の腹腔鏡手術に比べても繊細な動きをすることが可能であり、胃がん手術においては脾周囲のリンパ節郭清を愛護的に行うことを可能とし術後脾液瘻などの合併症が有意に少ないというデータが出ています。

ESD

ただしロボット支援胃がん手術を保険診療で施行するには「胃がん切除手術年間30例以上」の施設基準があります。当院はこの基準を満たしており、2025年は手術支援ロボットda Vinci Xi 2台稼働の下全胃がん手術の約9割がロボット支援手術でした。

薬物療法の進歩もめざましく、新たな抗がん剤や免疫チェックポイント阻害剤などが次々と開発され、それらを組み合わせることで治療効果が高まることが証明されてきています。その恩恵により、まだ適応は限られますが以前は根治手術を断念していた(肝転移・傍大動脈リンパ節転移・腹膜播種などの)遠隔転移症例でもまず薬物療法を行うことによって転移が消失し根治切除(コンバージョン手術)にもっていくことが期待できるようになりました。



ロボット支援手術

地域がん診療連携拠点病院としての役割

当院は、厚生労働省が定める厳格な基準を満たし、国から「地域がん診療連携拠点病院」として指定を受けています。国指定のがん拠点病院は、手術・化学療法・放射線治療を含む標準的ながん医療の提供、相談支援体制や緩和ケアの整備、院内がん登録の実施など、全国共通の要件に基づき地域の中核としての役割を担います。通常二次医療圏に一つの拠点病院が整備されますが、泉州二次医療圏は例外的に岸和田市民病院と和泉市立総合医療センターの二施設が指定されています。地域完結型のがん医療を岸和田市民病院とともに二点で支える体制を整えています。

日本胃癌学会施設認定制度の開始

高度化した診断・治療を提供するためには複数の診療科がチームとなり力を合わせる必要があります。日本胃癌学会は、高い胃がん診療レベルを維持するために2023年4月より施設認定制度を設けました。認定施設は、認定施設(A)と認定施設(B)の2種類で、胃がんに関連する学会の専門医や技術認定医の医師数、症例数、臨床研究の英語論文数等により評価されます。

認定された(A)のカテゴリーは、(B)では必須とされない内視鏡外科技術認定医、薬物療法専門医、病理専門医・細胞診専門医などさらなる高度医療に必要とされる専門資格をもった医師が常勤で在籍していることが条件とされており、さらに手術中の病理・細胞診診断などが可能であることが必須とされています。認定施設(A)は(B)に比べて非常に厳しい条件が課されています。

泉州医療圏唯一の胃癌学会A認定病院

当院は定められた条件をクリアし、2024年に認定施設Aの認定を受けました。**泉州医療圏で唯一の胃癌学会A認定病院** (2026年3月現在)となります。

今年、全国規模の診療データベースである National Clinical Database(NCD)を用いた研究で、**認定施設は非認定施設と比べ、術後の手術関連死亡率が有意に低いこと**が明らかになりました。

当院は今後も各科でさらに協力し、引き続き皆様により高度で質の高い胃がん治療を提供してまいります。

胃がん診療チームにおける各診療科代表

消化器内科: 部長 平松 慎介

消化器外科: 上部消化管外科部長 玉森 豊

腫瘍内科: 顧問 佃 博

病理診断科: 特別顧問 太田 善夫

文責 上部消化管外科部長 玉森 豊